

5. 「多様な教育的ニーズのある子供の教科指導上の個に応じた配慮」の考え方

ここでは、「教科指導上の配慮」の検討において、学校の実践の積み重ね等の違いにより、配慮を考える流れが異なる状況があったことから、「教科指導上の個に応じた配慮を考える流れ」(図5-1)を示した上で、「教科指導上の個に応じた配慮の例」を整理した。さらに、子供への声かけや対話を通して「教科指導上の配慮」を検討した実践や、教師の指導や支援に子供が関わった実践を紹介する。

(1) 「教科指導上の個に応じた配慮」を考える流れ

本研究で検討した「教科指導上の個に応じた配慮」を考える流れは、配慮を考える全体像をとらえてもらうために作成している。iからvの数字については、説明のために付記したもので、順序性を示すものではない。また、それぞれの項目について、一方的に流れるものではなく、それぞれが行き来しながら検討することを前提としている。

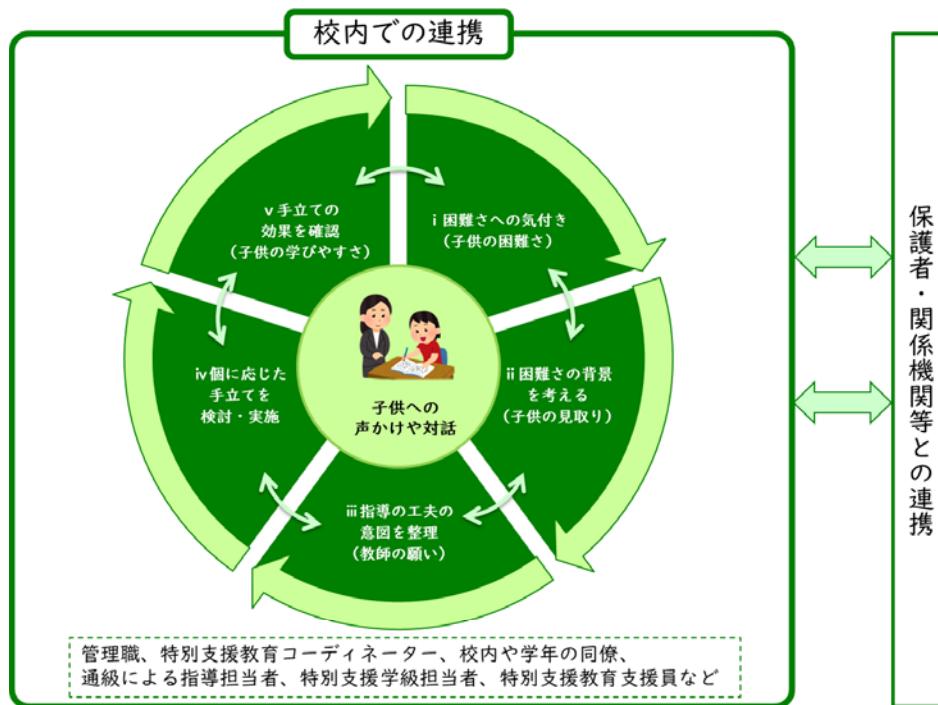


図5-1 「教科指導上の個に応じた配慮」を考える流れ (図4-2再掲)

i 困難さへの気付き (子供の困難さ)

通常の学級では、多くの場合、子供が同じ流れで学ぶよう指導しているが、その中で個々の子供たちの学習の様子を観察し、学習活動に「参加」することが困難な子供や、

教師の指示どおりに学んでいない子供、独自の学び方等をしている子供の存在に気付くことが重要である。ほかの子供とは明らかに様子が異なる場合や、担任が経験的におまり出会っていないと感じる子供たちの中には、「教科指導上の個に応じた配慮」を必要とする子供が含まれている可能性がある。また、教師が困難さへの配慮を検討したとしても、子供自身に困難さの自覚がない場合や、苦手なことに対して過度な不安を抱いている子供もいる。このため、子供への声かけ等を通して、子供が自ら学びの困難さに気付いていくことが重要である。平成29・30年改訂学習指導要領各教科編には、学習活動を行う場合に生じる困難さが、次のように示されている。

今回の改訂では、障害のある児童（生徒）などの指導に当たっては、個々の児童（生徒）によって、見えにくさ、聞こえにくさ、道具の操作の困難さ、移動上の制約、健康面や安全面での制約、発音のしにくさ、心理的な不安定、人間関係形成の困難さ、読み書きや計算等の困難さ、注意の集中を持続することが苦手であることなど、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の児童の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫することを、各教科等において示している。

ii 困難さの背景を考える（子供の見取り）

困難さがある子供について、その困難さの背景を考えることで、適切な指導や必要な支援につながる。困難さの背景を考えるためにには、子供の様子を観察したり、本人・保護者との面談等による情報収集を行ったり、必要に応じて学年会や校内委員会で協議することなどが考えられる。さらに、著しい困難さが疑われる場合には、保護者や外部の専門機関との連携により検査等を活用することも考えられる。

iii 指導の工夫の意図を整理（教師の願い）

学習指導要領には、小学校・中学校・高等学校等ごとに、それぞれの教科等の目標や大まかな教育内容が示されている。これら教科等の目標の達成や学習内容の理解に向けて、教師が個々の子供の実態（得意なことや苦手なこと、特性）を踏まえた、指導目標に対する指導の工夫の意図を整理することが必要である。

iv 個に応じた手立ての検討・実施

個に応じた手立ては、個々の困難さの背景によって変わる。手立てを検討する際、子供の学びやすさに注目しながら手立てを検討・実施することが求められる。また、個々の子供の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法や教材、学習時間等を柔軟に検討・実施することが重要である。さらに、子供の自尊感情に配慮しながら手立ての必要性や内容、方法等を提案し、合意形成を図りながら決定する必要がある。

小学校〔国語〕

<困難さ>

自分の立場以外の視点で考えたり、他者の感情を理解したりすることが難しい
(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちの理解やそれに寄り添った言動が苦手であるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考え以外の感情があることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や吹き出しを用いて気持ちや考えを書き出し、同じ場面や状況でもいろいろな感情があることを教える。  ロールプレイや劇遊びを通して、他者の立場を演じてみる。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 同じ場面でも違う感情があることが分かるかを確認する。
- 絵やロールプレイが考えやすかったかを確認する。

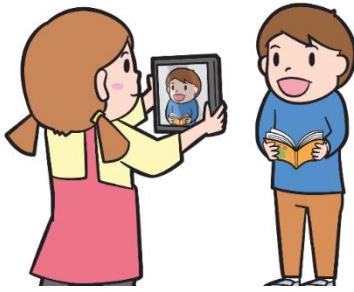
<ul style="list-style-type: none"> 病気による心理的な不安定さや、人間関係形成の困難さがあるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の感情を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイを行い、役割を担った人（他者）の感情を考える。
-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 他者の気持ちや感情として、感じたことや考えたことを確認する。

<困難さ>

声を出して発表することが難しかったり、人前で話すことへの不安を抱いたりする
(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・緊張や不安があり、声を出して発表することが難しかったため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張や不安を解消する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理に声を出して発表しなくても良いことを伝える。 ・筆談や音声出力を活用したり、事前に紙に書いたり、ICT機器を活用したり、ビデオ録画したりするなど、発表の仕方を工夫する。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・声を出して発表することへの不安を軽減できたかを確認する。
- ・どのような発表方法が発表しやすかったかを確認する。

<ul style="list-style-type: none"> ・発音が上手くできなく、人前で話すことへの不安を抱いているため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出すこと以外の方法も含めて人前で話す方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・VOCAやICT機器等を活用して人前で話す。 
------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・人前で話すことへの不安を軽減できたかを確認する。
- ・VOCAやICT機器等を活用した発表方法はどうであったかを確認する。

<困難さ>

文章を目で追いながら、音読することが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 文章を読む際、どこを読んでいるのかがわからなくなるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が読んでいるところが分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を指で押さえながら読む。 スリットを用意する。 教科書の文を指等で押さえながら読むよう促す。 行間を空けるために拡大コピーをしたもの用意する。 語のまとまりや区切りが分かるように分かち書きされたものを用意する。 読む部分だけが見える自助具（スリットやミニ定規等）を活用する。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 文書を正しく、最後まで読むことができたかを子供に聞いたり、教師が見たりして確認する。
- スリット等を用いることで、読みやすくなったかを子供に聞いて確認する。

<ul style="list-style-type: none"> 視力の低さや視野の狭さがあるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字が見えやすい環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供の視力や視野に応じた拡大率、行間、字間、コントラストの文字や図で作成された教材を用意する。 適切な明るさを確保する。 書見台や弱視レンズ、等の視覚補助具を使用する。 
---------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 教材に書かれた文字の見えやすさなどを子供に聞いて確認する。
- 弱視レンズや拡大読書器等の視覚補助具を適切に使用することができるかを教師が見て確認する。

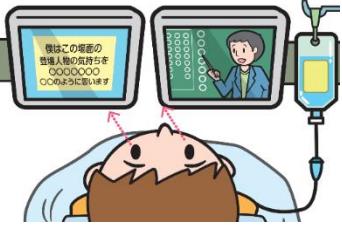
・眼球の動き、首の動きの制限があるため。	・文章を目で追えるようにする。	・書見台等を活用して、本人が文章を目で追うことができる位置に教科書等を設置する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例） <ul style="list-style-type: none"> ・文章を目で追えたかを確認する。 ・教科書等を設置した位置はどうであったかを確認する。 		

<p><困難さ> 言葉の意味理解が難しい (学習指導要領解説の記載なし)</p>		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・相手の気持ちをくみとることが苦手であったり、語彙力不足していたりするため。	・場面や状況に応じた言葉が分かるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・図や絵などを用いて、場面や状況にあった言葉を教える。 ・言葉の意味が理解できていない場合は、本人が理解できる言葉で言い換えて教える。 ・学習や生活の中で意図的に場面や状況を設定し、理解できていない言葉を使うようにする。 
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例） <ul style="list-style-type: none"> ・場面や状況に応じた言葉が使っているかどうかを確認する。 		

<困難さ>

文字や文章を書くことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 手指や腕の動きの制限があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記具を使用して文字や文章を書けるようにする。 パソコンやタブレット端末等を活用し、代替手段で文字を書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記具が握れるように、シリコン樹脂等で本人の指に合わせた補助具を使用する。 パソコンやタブレット端末等を活用して文字や文章を打ち込んで作成できるようにする。  

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 筆記具を握って文字や文章が書けたか、使いやすさを確認する。
- パソコンやタブレット端末等を活用して文字や文章を打ち込む方法はどうであったかを確認する。

<ul style="list-style-type: none"> 短期記憶が苦手であったり、縦読みが苦手であったりするため。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間内に書き写せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさや余白など見やすく板書する。 書く時間を十分に確保する。 書き写す量を調整する。 
<ul style="list-style-type: none"> 板書を撮影して、手元で確認しながら書き写すことを認める。 		

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 書き取れた内容や量について確認する。

・音声が聞こえにくいため。	・主担当以外の教師が、要約筆記をパソコンで行い、要約筆記用タブレット端末で教師の話を伝え、必要なことを書けるようとする。	・黒板や要約筆記を見ながら、板書や必要なことをノートに書けるようとする。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・黒板や要約筆記を活用しながら、ノートに書くことについて、学習しやすいかどうかを確認する。		



小学校〔社会〕

<困難さ>

地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが難しい
(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・読み取る範囲が広く、必要な情報を捉えることが苦手であるため。	・必要な情報を捉える際に必要な視点を理解させる。 ・必要な情報を読み取る段階を明示する。	・見る範囲を限定したり、掲載されている情報を精選したりして、視点を明確にする。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・ワークシート等の成果物から、どの段階でつまずいているかを確認する。
- ・机間指導などの際に、視点や範囲を指示した状態で、必要な情報をどの程度見つけ出せるかを見とる。

・文字や記号が小さくて見えにくいため。	・文字を読みやすくする。	・読み取りやすくするために、地図等の情報を拡大する。
---------------------	--------------	----------------------------



子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・文字の見えやすさなどを児童に聞いて確認する。

<困難さ>

社会的事象に興味・関心をもつことが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・身近な生活とのつながりが分からぬいため。	・取り扱う社会的事象が身近な生活や自身の経験と結びついていることを理解させる。	・その社会的事象の意味を理解しやすくするため、社会の営みと身近な生活がつながっていることを実感できるよう、特別活動などとの関連付けなどを通して、具体的な体験や作業などを取り入れ、学習の順序を分かりやすく説明し、安心して学習できるよう配慮する。

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・興味・関心を持たせるための教材や発問に対する個人的な経験や解釈などの意見が得られるかどうかを確かめる。
- ・授業や単元の終わりなどに振り返りの時間を設定し、取り扱った社会的事象について、どのような興味や関心を持って学習に臨んだかを尋ねる。

・経験や体験等の不足により、実感がもてないため。

・経験や体験の不足を補う。

・ゲストスピーカーを招いたり関係者の体験を記録した教材を用いたりして、児童の経験を補い、児童同士で感想を伝え合わせたり、記述させたりする。



子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・児童が意見交換に参加しているか、感想の記述に取り組めているかどうか様子を確認する。

<困難さ>

社会的事象についての学習問題に気付くことが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・問われている学習問題の意味がわからなかったため。	・学習問題の意味を理解させ、動機付けさせる。	・社会的事象を読み取りやすくするために、写真などの資料や発問を工夫する。

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・資料提示や発問をした直後の学習態度に注目する。

・学習問題を焦点化することが苦手であるため。

・学習問題を焦点化する。

・課題に対してどのように取り組むことが今求められているかを発問する。
・学習テーマに関わる問題の当事者の立場になって考えさせる。



子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・課題への取り組み方について正しい理解が得られているかどうか確認する。
- ・ロールプレイ等において問われている問題が表現できているかを見取る。
- ・授業の終わりに振り返りの時間を設け、課題への取り組みやすさ、自身の学習意欲やその要因について記述させる。

<困難さ>

社会的事象に関わる学習問題について予想を立てることが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・学習の見通しがもてないため。	・学習の今後の見通しを立てられるようにする。	・見通しがもてるようヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにする。

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・学習順序について直接意見を聞いたり、ペアやグループで意見交換をさせたりして、提示した学習順序がその児童にとって意味をなしているか確認する。

・経験や体験等の不足により、予想を立てることが難しいいため。	・予想を立てる上で必要な情報が何か理解させる。	・予想を立てさせる際に、これまで学習した内容や自分の経験を話し合わせる時間を設ける。
--------------------------------	-------------------------	--------------------------------------------



子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・予想を立て記述させる時間を設け、注目する児童がどのような問い合わせの際に予想を立てるのが困難あるいは容易になるかを確認する。

<困難さ>

情報収集や考察、まとめの場面において、考える際の視点を定めるのが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 考え方の見通しがもてないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集や考察、まとめの場面において適切な視点を選び取る経験をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見本を示したワークシートを作成する。 必要な視点やキーワードなどについて児童同士の意見交換などを通して考えさせる。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 情報収集や考察、まとめに至るまでに有効だった視点やヒントについて振り返らせる。
- 意見交換の中で確認できたキーワードを使って表現できているかを確認する。

<困難さ>

社会見学の際に移動が難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 車椅子のため、移動が困難であるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の児童と同様の学習内容ができる限り保障する。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学の様子の映像や写真を同時あるいは事後に共有する。 社会見学で得て欲しい情報をについてワークシートなどに記述する。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 映像、写真、ワークシートなどの支援した情報が役立ったか、あるいは感想などを聞き取る。

<困難さ>

資料を元に問題文に解答することが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・問題文が求めている解答を予測できないため。	・問題文が求めている大まかな解答内容の予想をさせる。	・問題文を要素に分解したり、「どのように」「なぜ」などの特定のキーワードに着目したりさせる。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 教師の補助やワークシートの工夫のどこが効果的だったのかを児童に振り返らせたり評価させたりする。

・資料から適切な情報を読み取れないため。	・資料から適切な情報を読み取らせる。	・資料一つひとつから読み取ること、複数の資料を合わせて読み取れることについて話し合わせる。 
----------------------	--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 話し合いの様子から、どのような資料あるいはどのような発問を苦手としているか推測したり、聞き取ったりする。

・問題文や資料の読み取りはできるが、適切な形で解答することに困難があるため。	・問題文に対して適切な回答の形式について理解させる。	・模範解答を提示し、解答の仕方や解答の構造を分析させる。 ・解答に含まれるキーワードを提示して解答を作らせる、あるいは模範解答の一部だけを空欄にして、空欄に入る語句を考えさせる。
----------------------------------------	----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 解答の仕方や解答の構造を分析したことがどの程度役立ちそうか振り返らせる。
- キーワードの提示や空欄補充による設問など教師が採用した設問の形が、自由記述など他の解答形式と比べて効果的だったか評価させる。

<困難さ>

社会的事象などについての周囲との意見交換が難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象などについての意見交換の際に、自分の考えに自信を持てないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見の妥当性について自信を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が机間指導中に児童の意見を聞き取り、応答をし、児童の意見に自信を持たせる。あるいは児童同士の意見交換の時間を設け、様子を観察する。 学校での既習事項を振り返るのか、児童のこれまでの経験から振り返ってほしいのか等、補助的な指示をする。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 意見交換の際に教師自身が児童の様子を観察したり、周囲の児童から意見交換の様子についての感想を聞き取ったりする。

<ul style="list-style-type: none"> 自分の興味関心や文化的背景から、自分の意見に過剰にこだわるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見が変容すること自体を前向きに捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見の譲れるところ、譲れないところについて自己省察をさせる。 他者の意見を踏まえて意見を変容させた児童を積極的に評価する雰囲気を作る。
------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 意見の変容が起きたかどうか、意見交換の後の記述や振り返りから確認する。
- 他の児童に対して攻撃的になるため。
 - 意見交換のためのルールを学ばせる。
 - 意見交換のためのルールについて話し合いをさせる。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 意見交換の際の話し合いが上手くいったとき、上手くいかないときについて振り返る時間を設け、ワークシートや口頭で意見交換についての感想を確認する。

<困難さ>

授業中に取り扱う用語や概念の意味を捉えることが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・社会科の用語などについて、漢字が読めないため。	・漢字の読みでつまずかないようにする。	・必要に応じてワークシート等にルビを振っておく。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ルビが役立っているかを児童に確認する。 		
・外来語などの意味が分からないため。	・外来語の意味や用法が分かるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字が読めないとき、あるいは外来語の意味が分からないときに周囲の児童に聞けるような雰囲気づくりをしておく。 ・その言葉の現代的な使われ方などを取り上げ、元々の意味との共通点を探らせる。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉でつまずく様子がないか確認する。 		
・既習事項だが児童に定着していないため。	・既習事項についての理解を確かめる。	・既習事項について口頭やワークシートで問いかける。あるいは児童同士で教え合うように指示する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の知識を用いた学習課題を設定し、どの程度解答できるかを確認する。 		

<困難さ>

単元を通して取り組む大きな問い合わせ、学習課題に対して見通しが持つのが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・単元を通して扱う問い合わせが大きすぎるため。	・問い合わせに対してどのような事柄を理解すれば良いのかの見通しを持たせる。	・大きな問い合わせに答えるための補助的な問い合わせを用意する。必要に応じて補助的な問い合わせをワークシートなどに示す。

子供と共に手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> 単元を通して扱う問い合わせに答える上で、補助的な問い合わせが役立っているかどうかを考えさせ、意見を求める。 		
・問い合わせの抽象度が高すぎるため。	・抽象的な知識を問い合わせを具体的な経験と結びつけたり、単純な問い合わせに置き換えさせたりする。	・個人の経験と繋がりを持たせられるような問い合わせにする。あるいは問い合わせに答えるための情報の範囲を限定して示す。
子供と共に手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> 教師側の声かけや問い合わせの工夫は実感できたか聞き取る。 		
・単元を通した問い合わせと、そのための補助的な問い合わせや作業の対応関係が分からぬい。	・単元を通した問い合わせに対して設定された補助的な問い合わせや作業の意味を理解させる。	・設定した補助的な問い合わせや作業は単元を通した問い合わせを明らかにするのにどの程度役立つかについて意見を述べさせる。
子供と共に手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> 補助的な問い合わせや作業が役立つかの意見を聞くことを通して、補助的な問い合わせや作業についての児童の理解を教師が吟味する。 大きな問い合わせに対して自分だったらどのような問い合わせを設定するかを考えさせる。 		
<困難さ>		
社会的事象・社会問題などを取り上げたパフォーマンス課題に取り組むことが難しい。		
(学習指導要領解説の記載なし)		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・課題の意味を理解することに困難があるため。	・課題の理解でのつまずきを見つける。	・課題文の中で分からないところを意見交換させ、質問を促す。
子供と共に手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> 課題の意味について自分なりに解釈したところや分からないところなどについて意見交換をさせ、課題についての理解を確認する。 		
・課題に取り組む意欲が湧かないため。	・課題の内容と実社会とのつながりを理解させる。	・課題に取り組むことが実社会でどのように役立つかを考えさせたり、あるいは教師が説明したりする。
		

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- 教師が設定した課題にどの程度取り組む価値があるかどうか、どのような価値があるかについて意見交換をさせて様子を見とる。

・課題に対してどのような方向性で取り組めば良いか分からないため。

・課題の評価基準を理解させる。

・課題の評価基準を共有した上で、課題に取り組んだ例を提示し、児童に評価をさせる。



子供と共に手立ての効果の確認（例）

- 作品例への評価について、周囲や教師の下す評価と、その児童の下す評価の間に大きなズレがないかに着目する。

小学校〔算数〕

<困難さ>

「商」「等しい」など、児童が日頃使用することが少なく、抽象度の高い言葉の理解が難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

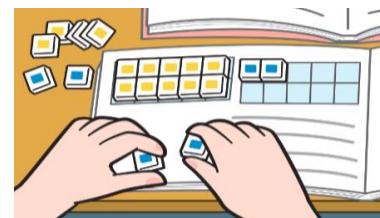
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・加減乗除などの言葉の意味と実際の学習活動との結びつきが十分でないため。	・体験的な活動を通して視覚的・具体的なイメージをもてるようとする。	・児童の興味・関心や生活経験に関連の深い教材を取り上げて、既習の言葉や分かりやすい言葉に置き換えて、イメージをもてるようとする。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・言葉の意味を理解し、学習ができているかを確認する。		

<困難さ>

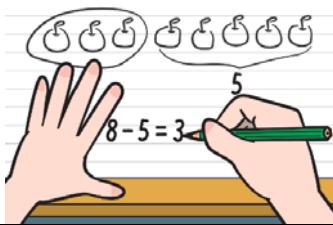
文章を読み取り、数量の関係を式を用いて表すことが難しい

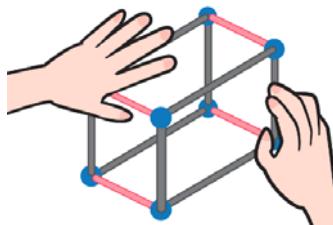
(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・推論することが難しく、数量の関係を具体的にイメージできないため。	・数量の関係に対する具体的なイメージをもち、式などをたてることができるようにする。	・児童の経験に基づいた場面や興味ある題材を取り上げる。 ・具体物を用いて場面の動作化・ブロックや積み木などの触覚教材を用いた操作活動をさせる。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・文章題を読み取り、正しく数式などがたてられているかを確認する。		



- ・解決に必要な情報に注目できるよう文章を一部分ごと示したり、図式化したりする。

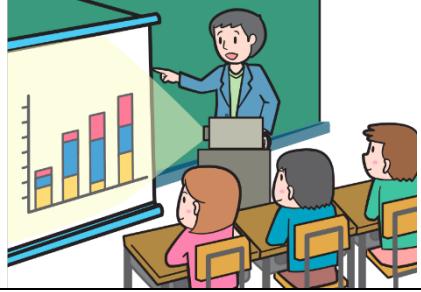
・文章題の言葉の理解が難しく、文章題で問われていることが理解できないため。	・文章で問われている内容を理解できるようにする。	・文章題に書かれている内容について、絵に描かせたり、言葉で状況を説明させたりして具体的なイメージをもたせる。
		
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例） <ul style="list-style-type: none"> 類似した文章題を解かせ、理解して解答できるかどうかを確認する。 		

<困難さ> 空間図形のもつ性質を理解することが難しい (学習指導要領解説の記載あり)		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・視力の低さや視野の狭さなどから、空間的なイメージができないため。	・直線や平面の位置関係をイメージできるようにする。	・立体模型を触らせるなどしながら、言葉で特徴を説明したり、見取り図や展開図と見比べて位置関係を把握したりする。
		
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例） <ul style="list-style-type: none"> 直線や平面の位置関係のイメージができているかを確認する。 		
・位置や空間を表す言葉の意味が理解できないため。	・基点を明確にすることで、位置や空間を表す言葉を正しく理解できるようにする。	・自分を基点にし、体験を通して、位置関係の言葉を具体的に理解させる。 ・基点を明確にし、向きを矢印表示など視覚的な手がかりを用いる。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例） <ul style="list-style-type: none"> 位置や空間を表す言葉を正しく理解できているかを確認する。 		

<困難さ>

データを目的に応じてグラフに表すことが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・視力の低さや視野の狭さなどから、自分の作図の過程や結果を視覚的に確認しにくいため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見えにくい状態を軽減させ、大枠のイメージがつめるようする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフを大きくしたり、作図しようとしているグラフ全体の形を言葉で説明したりして、グラフのイメージをもたせる。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・作図しようとしているグラフを言葉で説明させ、実際に作図したグラフが意図したものになっているかを確認する。

<ul style="list-style-type: none"> ・必要なデータや複数のグラフの構造を捉えにくく、目的に応じたグラフに表すことができないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフの種類や目的に応じたグラフの表し方があることを理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じデータを棒グラフや折れ線グラフなど違うグラフに表して見比べることを通して、よりよい表し方に気付かせる。  <ul style="list-style-type: none"> ・縦軸・横軸の意味理解と座標の感覚を将棋などのゲームを通して理解させる。
--------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

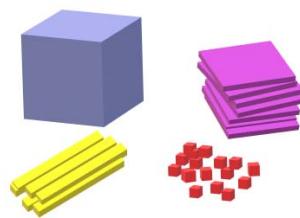
- ・作図しようとしているグラフを言葉で説明させ、実際に作図したグラフが意図したものになっているか確認する。

<困難さ>

大きな数の概念や小数の計算をするのが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・繰り上がりや繰り下がりの手続きなど十進法位取りができないため。	・十進法位取りが正しくできるようにする。	・10のまとまりを捉えられるような図や位取り表を使用する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例） <ul style="list-style-type: none"> 位取り表の1マスに1つの数字が入り、十進法位取りについて理解できているかを確認する。 具体的なものと抽象的なものを結びつけにくく、大きな数や小数などのイメージができないため。 		
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例） <ul style="list-style-type: none"> いくつかの大きな数や小数について、大小を判別したり、言葉で説明したりできるかを確認する。 		



<困難さ>

面積や体積について、既習を基に立式することが難しい

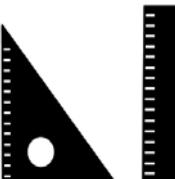
(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意団	個に応じた手立て
・底辺や円周率など、图形と言葉を結び付けにくく、公式の意味が理解できないため。	・公式を使い、面積や体積を求めることができるようする。	<ul style="list-style-type: none"> 式と図形を対応させた色をつけるなど注目してほしいところを強調して、公式と図形の関係を結びつける。 具体物を用いて、見たり、触ったり、回転させたりしながら違いを確認する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例） <ul style="list-style-type: none"> 公式が表しているものを言葉で説明させ、正しく図と結びついているかを確認する。 		



<困難さ>

用具を用いて測定したり、線を引いたり、図形を描いたりすることが難しい
(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 手指や腕の動きの制限があるため、コンパス・定規などが上手く扱えず、正確な作図や測定ができないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 使いやすい筆記具などを工夫することにより、作図や測定ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記具が握れるようにシリコン樹脂等で本人の指に合わせた補助具を使用する。  書見台等を活用して図形を描くノート等の位置を調整する。 
<ul style="list-style-type: none"> 視空間認知に弱さがあり、正確な作図や測定ができないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記具の使い方などを工夫することにより、作図や測定ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目盛りや数値がはっきりと書かれている（白黒反転）ものや、大きく書かれている定規や分度器を使う。  パソコンやタブレット端末を活用する。（アプリの活用など）  定規やコンパスの軸が動かないように固定したり、定規等の測定の基点に印をつけたりする。 作図については、正確さを厳密に求めないようにする。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 文房具の工夫などにより、測定や作図の困難さが軽減されたかを確認する

小学校〔理科〕

<困難さ>

実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが困難で、見通したもてなかつたりして、学習活動に参加することが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・手順や器具が多いため、必要な情報を捉えることが難しいため。	・学習の見通しがもてるようにする。	・実験・観察の目的を明示したり、操作手順を具体的に示したり、扱いやすい実験道具を用いる。 ・方法を視覚的に表したプリントを掲示したり、配付したりする。
・難聴のため、口頭だけの指示では分からにくいため。	・指示が伝わりやすくする。	
・視力の低さのために操作方法を把握できないため。	・見えにくさを解消する。	・実験・観察の手順や方法が見やすいプリントを手元に置く。
・病気による学習空白のため、経験や体験等の不足し、使い方や方法について理解していないため。	・経験不足を補う。	・経験していない内容を事前に伝える。

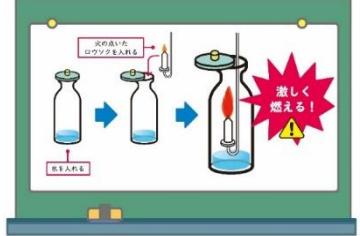
子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・実験・観察を手順通りに、最後まで行えたか確認する。

<困難さ>

燃焼実験のように危険を伴う学習活動において、危険に気付きにくいため、安全に実施することが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 手順が多いため、気が散ってしまい、考えたことをすぐに行動してしまうため。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童を危険な状態にしないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が確実に様子を把握できる場所で活動できるように配慮する。 危険なポイントを示し、なぜ危険なのかを伝える。 整理された学習環境で取り組めるように工夫する。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 実験・観察中に危険なく行えているか確認する。

<ul style="list-style-type: none"> 車椅子移動や手指の動きの制限があったり、不器用であったりするため、危険への対応が遅れてしまうため。 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子や補助具の操作、手指の動き等が上達するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に応じた動きができるように、操作方法や動きを練習する。  <p>※理科室で車いすの練習をしている様子</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

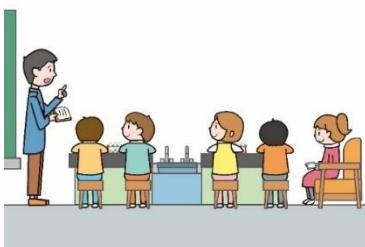
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 車椅子、補助具の使いやすさや手指の動きを確認する。

<困難さ>

自然の事物・現象を観察する活動において、時間をかけて実験や観察をすることが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・学習の見通しがもてず、気が散ってしまうため。	・学習の見通しをもち、実験・観察の内容に着目しやすくする。	・実験・観察の手順や方法を視覚的に表したもの等を掲示したり、ICT教材を活用したりして、注目するポイントを示す。 
・視力が低いため、遠いものや動くものを見て観察することが難しいため。	・視力を補って、観察できるようにする。	・観察できるものを手元に置き、触って確認できるようにする。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察に集中して行えているか確認する。 		
・病気や障害等により体力が少ないため。	・休みながら行えるようにする。	・休憩できるスペースを設ける。 
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に体調不良になっていないか確認する。 		

<困難さ>

実験・観察から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 手順や器具が多いため、必要な情報を捉えることが難しいため。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を精選し、視点を明確にするなどの配慮をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 読みとったり、把握しやすくするために、必要な部分を拡大したり、限定したりする。
<ul style="list-style-type: none"> 視力の低さのために実験の変化を把握したり、器具の目盛りを読み取ったりすることが難しいため。 	<ul style="list-style-type: none"> 見えにくさを解消する。 	

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

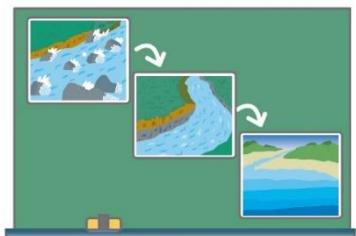
- ワークシートなどに記入させることから、読み取れているか確認する。

<困難さ>

実験や観察について予想を立てることや、考える際の視点を定めることが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した内容を組み合わせたり、順序立てたりして考えることが苦手なため。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を順序立てて考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しがもてるよう、これまでに学習した内容についてヒントになる事項を図やカード等に整理して示す。 これまでに実験・観察した内容の違いが比較できるように黒板に図を並べて示す。



子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ワークシートなどに記入させることから、予想できているか確認する。

小学校〔外国語活動〕

<困難さ>

音声を聞き取ることが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語と日本語の音声やリズムの違いを認識することに課題があるため。 ・音声を聞き取ることが難しく、活動の流れを理解できないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き取れるようにする。 ・リズムやイントネーションを理解できるようにする。 ・本時の活動の流れが分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるよう、リズムやイントネーションを、教師が手拍子を打つ、音の強弱について手を上下に動かして表すなどの配慮をする。 ・発音の音量を大きくする。 ・口形をはっきり示す。  <ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れが分かるように、本時の活動の流れを文字で黒板に記載する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるようにになったかを確認する。 ・本時の流れが分かり、活動に参加できているかを確認する。 		

<困難さ>

1 単語当たりの文字数が多い単語や、文などの文字情報になると、読む手掛かりをつかんだり、細部に注意を向けたりするのが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりを認識することに課題があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を読む手がかりをつかめるようにする。 板書に貼られたカードから語彙や表現を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや文の構成を見て、そろえやすくするよう、外国語の文字を提示する際に字体をそろえたり、線上に文字を書いたりする。 語彙・表現などを記したカードなどを黒板に貼る際には、貼る際には、貼る位置や順番などに配慮する。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 文字や単語を読む手がかりをつかめたかを確認する。

<困難さ>

活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるのかを識別することが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 単語のまとまりを認識することが難しく、活字体で書かれた文字を識別することに課題があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 活字体で書かれた文字を識別し、読めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文節をはっきりさせ、単語のまとまりを○で囲む等して、単語を意識できるようにする。 身近な場所にある看板や持ち物に記されている活字体で書かれた文字に意識を向けさせるようにする。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 活字体で書かれた単語を識別できるようになったかを確認する。

<困難さ>

単語や文章を話すことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 話すときに、単語や文章が頭に思い浮かばないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語や文章を話すことができるようする。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す内容を頭の中で整理できるように、紙に書く等の工夫をする。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 話す内容を話すことができるようになったかを確認する。

<困難さ>

発声等でコミュニケーションをとることが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意団	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 発音の明瞭度が低く、相手とのコミュニケーションに課題があるため。 構音がうまくできず、相手に分かるように発音することができないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手と会話し、コミュニケーションを取れるようする。 構音がうまくできるようする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音の模倣等を示す等、相手とコミュニケーションがとれるようする。 口形や発音の模倣等を示す等、コミュニケーションがとれるようする。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- はっきりと発音して、相手とコミュニケーションをとることができたかを確認する。
- 正しく構音して、コミュニケーションをとることができたかを確認する。

<困難さ>

人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話すことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 活動の見通しがもてなく、緊張や不安があり、声を出して発表することが難しいため。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に見通しがもてるようにする。 人前で話すことへの不安を解消する。 	<ul style="list-style-type: none"> 最終活動の見通しがもてるよう、最終活動となるモデルを示し、活動のイメージをもたせる。  <ul style="list-style-type: none"> 自信をもって発表できるように肯定的に児童の発表を支援する。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 人前で話すことへの不安・緊張が解消されたかどうかを確認する。

<困難さ>

大文字と小文字の正しいか書き分けや、符号を適切に使って書くことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意団	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字の正しいか書き分けや、符号を適切に使って書くことに困難があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字の正しいか書き分けや、符号を適切に使って書くことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語等に着目し、大文字と小文字の正しいか書き分けや、符号を適切に使って書くことができるよう、大文字や符号を強調して示すようになる。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

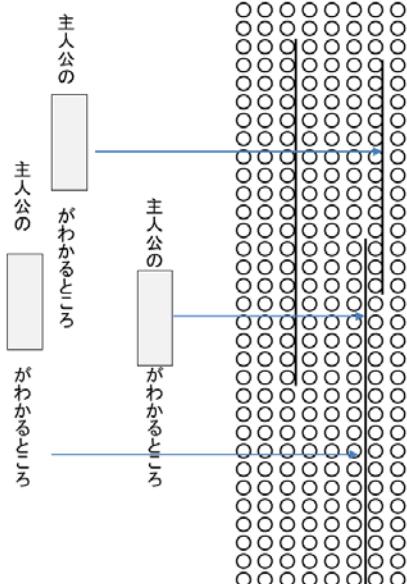
- 大文字と小文字の正しいか書き分けや、符号を適切に使って書くことができるようになったかを確認する。

中学校・高等学校〔国語〕

<困難さ>

自分の立場以外の視点で考えたり、他者の感情を理解したりすることが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 相手の意図を理解できなかつたり、相手の表情から感情を読みとつたりすることが難しいため。 病気による心理的な不安定さや、人間関係形成の困難さがあるため。 人間関係形成が困難であるという特性があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者の感情を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が身近に感じられる文章（例えば、同年代の主人公の物語など）を取り上げ、文章に表れている心情やその変化等が分かるよう、行動の描写や会話文に含まれている気持ちがよく伝わってくる語句等に気付かせたり、心情の移り変わりが分かる文章中のキーワードを示したり、心情の変化を図や矢印などで視覚的に分かるように示してから言葉で表現させたりするなどの配慮をする。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 他者の気持ちや感情が分かるキーワードを抜き出せているかを確認する。

<困難さ>

比較的長い文章を書くなど、一定量の文字を書くことが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 読み書きに困難さがあり、書き写すことに時間がかかるため。 手指や腕の動きの制限があるため、文字や文章を書くことが難しいため。 	<ul style="list-style-type: none"> 手で書くこと以外の方法も提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を書く負担を軽減するため、手書きだけではなく ICT 機器を使って文章を書くことができるようにするなどの配慮をする。  <ul style="list-style-type: none"> 写真撮影したものをノートに貼らせる。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 代替え手段で記録したとしても、授業内容は理解できているか確かめる。

<困難さ>

声を出して発表することが難しかったり、人前で話すことへの不安を抱いていたりする

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・難聴のため、発音の明瞭度が低く、相手とのコミュニケーションが難しいため。 ・構音がうまくできず、相手に分かるように発音することが難しいため。 ・緊張や不安があり、声を出して発表することが難しいため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出す以外の発表方法について提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙やホワイトボードに書いたものを提示したり ICT 機器を活用したりして発表するなど、多様な表現方法が選択できるように工夫し、自分の考えを表すことに対する自信がもてるような配慮をする。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・代替え手段で発表することに抵抗感がなくなったかどうかを確認する。

<困難さ>

言葉の意味理解が難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意団	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・手指や腕の動きの制限があるため、文字や文章を書くことが難しいため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記具を使用して文字や文章を書けるようにする。 ・筆記以外の文字や文章を書く方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記具が握れるように、シリコン樹脂等で本人の指に合わせた補助具を使用する。 ・書見台等を活用して、文字や文章を書くノート等の位置を調整する。 ・パソコンやタブレット端末等を活用して文字や文章を打ち込んで作成できるようにする。 

子供と共に手立ての効果の確認（例）

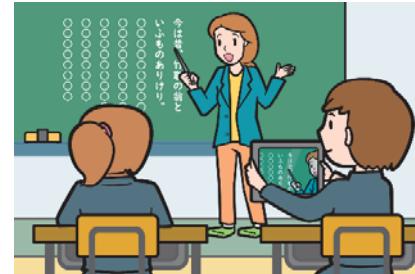
- ・筆記具を握って文字や文章が書けたかを教師が見て確認する。
- ・ノート等を設置した位置が適当であったかを生徒に聞いて確認する。
- ・パソコンやタブレット端末等を活用して文字や文章を打ち込む方法はどうであったか生徒に聞いて確認する。
- ・補助具の使いやすさを生徒に聞いて確認する。

<困難さ>

板書をノートに正しく書き写すことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none">・読み書きに困難さがあり、書き写すことには時間がかかるため。	<ul style="list-style-type: none">・時間内に書き写せるようになる。	<ul style="list-style-type: none">・文字の大きさや余白など見やすく板書する。・書く時間を十分に確保する。・書き写す量を調整する。・板書を撮影して、手元で確認しながら書き写すことを認める。



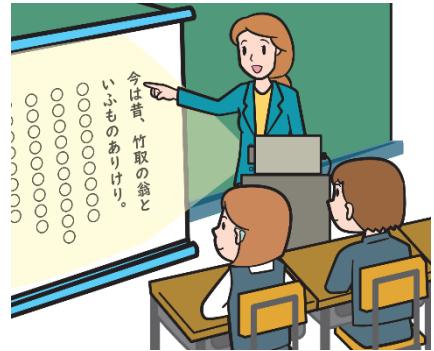
子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・書き取れた内容や量について確認する。
- ・時間内で書き写せたかを確認する。

<困難さ>

教科書や資料を見ながら、説明を聞くことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none">聞くことと見ることを同時にすることが難しいため。	<ul style="list-style-type: none">教科書や資料を見ながら説明を聞けるようにする。	<ul style="list-style-type: none">大型ディスプレイや拡大コピーで教科書や資料を大きく提示し、その近くで説明する。  <ul style="list-style-type: none">見る時間と聞く時間を分ける。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 内容が正しく聞き取れたかを確認する。

中学校〔社会〕・高等学校〔地理歴史・公民〕

<困難さ>

地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが難しい
(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・読み取る範囲が広く、必要な情報を捉えることが苦手であるため。	・必要な情報を捉える際に必要な視点を理解させる。 ・必要な情報を読み取る段階を明示する。	・見る範囲を限定したり、掲載されている情報を精選したりして、視点を明確にする。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・ワークシート等の成果物から、どの段階でつまずいているかを確認する。
- ・机間指導などの際に、視点や範囲を指示した状態で、必要な情報をどの程度見つけ出せるかを見とる。

・文字や記号が小さくて見えにくい。	・文字を読みやすくする。	・読み取りやすくするために、地図等の情報を拡大する。
-------------------	--------------	----------------------------



子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・文字の見えやすさなどを生徒に聞いて確認する。

<困難さ>

社会的事象に興味・関心をもつことが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・身近な生活とのつながりが分からなかっため。	・取り扱う社会的事象が身近な生活や自身の経験と結びついていることを理解させる。	・その社会的事象の意味を理解しやすくするため、社会の営みと身近な生活がつながっていることを実感できるよう、特別活動などとの関連付けなどを通じて、具体的な体験や作業などを取り入れ、学習の順序を分かりやすく説明し、安心して学習できるよう配慮する。

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・興味・関心を持たせるための教材や発問に対する個人的な経験や解釈などの意見が得られるかどうかを確かめる。
- ・授業や単元の終わりなどに振り返りの時間を設定し、取り扱った社会的事象について、どのような興味や関心を持って学習に臨んだかを尋ねる。

・経験や体験等の不足により、実感がもてないため。

・経験や体験の不足を補う。

・ゲストスピーカーを招いたり関係者の体験を記録した教材を用いたりして、生徒の経験を補い、生徒同士で感想を伝え合わせたり、記述させたりする。



子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・生徒が意見交換に参加しているか、感想の記述に取り組めているかどうか様子を確認する。

<困難さ>

社会的事象についての学習上の課題に気付くことが難しい

（学習指導要領解説の記載あり）

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・問われている学習上の課題の意味がわかららないため。	・学習上の課題の意味を理解させ、動機付けさせる。	・社会的事象を読み取りやすくするために、写真などの資料や発問を工夫すること。

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・資料提示や発問をした直後の学習態度に注目する。

・学習上の課題を焦点化することが苦手であるため。

・学習上の課題を焦点化する。

・課題に対してどのように取り組むことが今求められているかを発問する。
・学習テーマに関わる問題の当事者の立場になって考えさせる。

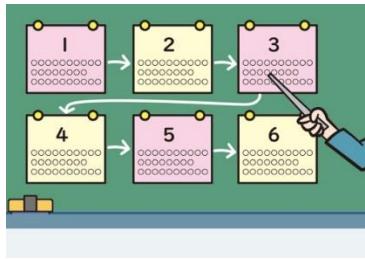
子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・課題への取り組み方について正しい理解が得られているかどうか確認する。
- ・ロールプレイ等において問われている問題が表現できているかを見取る。
- ・授業の終わりに振り返りの時間を設け、課題への取り組みやすさ、自身の学習意欲やその要因について記述させる。

<困難さ>

社会的事象に関わる学習上の課題について予想を立てることが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しがもてないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の今後の見通しを立てられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しがもてるようヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにする。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・学習順序について直接意見を聞いたり、ペアやグループで意見交換をさせたりして、提示した学習順序がその生徒にとって意味をなしているか確認する。

<ul style="list-style-type: none"> ・経験や体験等の不足により、予想を立てることが難しいため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想を立てる上で必要な情報が何か理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想を立てさせる際に、これまで学習した内容や自分の経験を話し合わせる時間を設ける。 
---------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・予想を立て記述させる時間を設け、注目する生徒がどのような問い合わせの際に予想を立てるのが困難あるいは容易になるかを見とる。

<困難さ>

情報収集や考察、まとめの場面において、どの観点で考えるのか難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・考え方の見通しがもてないため。	・情報収集や考察、まとめの場面において適切な観点を選び取る経験をさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 見本を示したワークシートを作成する。 必要な観点やキーワードなどについて生徒同士の意見交換などを通して考えさせる。 

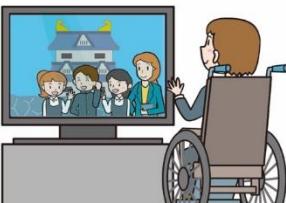
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 情報収集や考察、まとめに至るまでに有効だった視点やヒントについて振り返らせる。
- 意見交換の中で確認できたキーワードを使って表現できているかを確認する。

<困難さ>

社会見学の際に移動が難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意団	個に応じた手立て
・車椅子のため、移動が困難であるため。	・他の生徒と同様の学習内容ができる限り保障する。	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学の様子の映像や写真を同時あるいは事後に共有する。 社会見学で得て欲しい情報についてワークシートなどに記述する。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 映像、写真、ワークシートなどの支援した情報が役立ったか、あるいは感想などを聞き取る。

<困難さ>

資料を元に問題文に解答することが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・問題文が求めている解答を予測できないため。	・問題文が求めている大まかな解答内容の予想をさせる。	・問題文を要素に分解したり、「どのように」「なぜ」など特定のキーワードに着目したりさせる。

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- 教師の補助やワークシートの工夫のどこが効果的だったのかを生徒に振り返らせたり評価させたりする。

・資料から適切な情報を読み取れないため。	・資料から適切な情報を読み取らせる。	・資料一つひとつから読み取れること、複数の資料を合わせて読み取れることについて話し合わせる。
----------------------	--------------------	------------------------------------------------



子供と共に手立ての効果の確認（例）

- 話し合いの様子から、どのような資料あるいはどのような発問を苦手としているか推測したり、聞き取ったりする。

・問題文や資料の読み取りはできるが、適切な形で解答することに困難があるため。	・問題文に対して適切な回答の形式について理解させる。	・模範解答を提示し、解答の仕方や解答の構造を分析させる。 ・解答に含まれるキーワードを提示して解答を作らせる、あるいは模範解答の一部だけを空欄にして、空欄に入る語句を考えさせる。
----------------------------------------	----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- 解答の仕方や解答の構造を分析したことがどの程度役立ちそうか振り返らせる。
- キーワードの提示や空欄補充による設問など教師が採用した設問の形が、自由記述など他の解答形式と比べて効果的だったか評価させる。

<困難さ>

社会的事象などについての周囲との意見交換が難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象などについての意見交換の際に、自分の考えに自信を持てないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見の妥当性について自信を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が机間指導中に生徒の意見を聞き取り、応答をし、生徒の意見に自信を持たせる。あるいは生徒同士の意見交換の時間を設け、様子を観察する。 学校での既習事項を振り返るのか、生徒のこれまでの経験から振り返ってほしいのか等、補助的な指示をする。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 意見交換の際に教師自身が生徒の様子を観察したり、周囲の生徒から意見交換の様子についての感想を聞き取ったりする。

- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 自分の興味関心や文化的背景から、自分の意見に過剰にこだわるため。 | <ul style="list-style-type: none"> 意見が変容すること自体を前向きに捉えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見の譲れるところ、譲れないところについて自己省察させる。 他者の意見を踏まえて意見を変容させた生徒を積極的に評価する雰囲気を作る。 |
|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 意見の変容が起きたかどうか、意見交換の後の記述や振り返りから確認する。 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 他の生徒に対して攻撃的になるため。 | <ul style="list-style-type: none"> 意見交換のためのルールを学ばせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 意見交換のためのルールについて話し合いをさせる。 |

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 意見交換の際の話し合いが上手くいったとき、上手くいかないときについて振り返る時間を設け、ワークシートや口頭で意見交換についての感想を確認する。

<困難さ>

授業中に取り扱う用語や概念の意味を捉えることが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・社会科の用語などについて、漢字が読めないため。	・漢字の読みでつまずかないようにする。	・必要に応じてワークシート等にルビを振っておく。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ルビが役立っているかを生徒に確認する。 		
・外来語などの意味が分からないため。	・外来語の意味や用法が分かるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字が読めないとき、あるいは外来語の意味が分からないときに周囲の生徒に聞けるような雰囲気づくりをしておく。 ・その言葉の現代的な使われ方などを取り上げ、元々の意味との共通点を探らせる。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉でつまずく様子がないか確認する。 		
・既習事項だが生徒に定着していないため。	・既習事項についての理解を確かめる。	・既習事項について口頭やワークシートで問いかける。あるいは生徒同士で教え合うように指示する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の知識を用いた学習課題を設定し、どの程度解答できるかを確認する。 		

<困難さ>

単元を通して取り組む大きな問い合わせや学習課題に対して見通しを持つことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・単元を通して扱う問い合わせが大きすぎるため。	・問い合わせに対してどのような事柄を理解すれば良いのかの見通しを持たせる。	・大きな問い合わせに答えるための補助的な問い合わせを用意する。必要に応じて補助的な問い合わせをワークシートなどに示す。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して扱う問い合わせに答える上で、補助的な問い合わせが役立っているかどうかを考えさせ、意見を求める。 		

・問い合わせの抽象度が高すぎるため。	・抽象的な知識を問う問い合わせを具体的な経験と結びつけたり、単純な問い合わせに置き換えさせたりする。	・個人の経験と繋がりを持たせられるような問い合わせにする。あるいは問い合わせに答えるための情報の範囲を限定して示す。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・教師側の声かけや問い合わせの工夫は実感できたか聞き取る。		
・単元を通した問い合わせと、そのための補助的な問い合わせや作業の対応関係が分からぬため。	・単元を通した問い合わせに対して設定された補助的な問い合わせや作業の意味を理解させる。	・設定した補助的な問い合わせや作業は単元を通した問い合わせを明らかにするのにどの程度役立つかについて意見を述べさせる。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・補助的な問い合わせや作業が役立つかの意見を聞くことを通して、補助的な問い合わせや作業についての生徒の理解を教師が吟味する。		
・大きな問い合わせに対して自分だったらどのような問い合わせを設定するかを考えさせる。		

<p><困難さ></p> <p>社会的事象・社会問題などを取り上げたパフォーマンス課題に取り組むのが難しい (学習指導要領解説の記載なし)</p>		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・課題の意味を理解することに困難があるため。	・課題の理解でのつまずきを見つける。	・課題文の中で分からぬところを意見交換させ、質問を促す。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・課題の意味について自分なりに解釈したところや分からぬところなどについて意見交換をさせ、課題についての理解を見とる。		
・課題に取り組む意欲が湧かないため。	・課題の内容と実社会とのつながりを理解させる。	・課題に取り組むことが実社会でどのように役立つかを考えさせたり、あるいは教師が説明したりする。
		

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- 教師が設定した課題にどの程度取り組む価値があるかどうか、どのような価値があるかについて意見交換をさせて様子を見とる。

- 課題に対してどのような方向性で取り組めば良いか分からないため。

- 課題の評価基準を理解させる。

- 課題の評価基準を共有した上で、課題に取り組んだ例を提示し、生徒に評価をさせる。



子供と共に手立ての効果の確認（例）

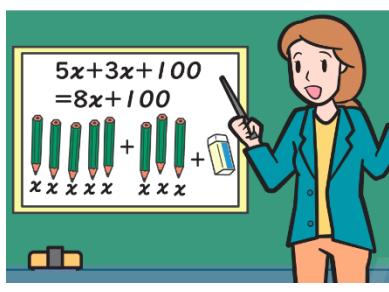
- 作品例への評価について、周囲や教師の下す評価と、その生徒の下す評価の間に大きなズレがないかに着目する。

中学校・高等学校〔数学〕

<困難さ>

文章を読み取り、数量の関係を文字式を用いて表すことが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 文章題で問われていることが理解できず、文字式との関係がわからぬいため。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報に注目し、数量と文字式の関係をイメージできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の経験に基づいた場面や興味のある題材を取り上げる。 解決に必要な情報に印をつけさせたり図式化したりして、注目してほしいところを強調する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> 類似した文章問題を解かせ、理解して解答できるかどうかを確かめる。 		
<ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面を想像できず、数字を文字に置き換えることの意味がわからぬいため。 	<ul style="list-style-type: none"> 数字を文字などに書き換えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面を示しながら、数字→記号→文字と文字に置き換える過程を丁寧に説明する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> いくつかの問題で、文字式をつくらせ、置き換えることができているかを確認する。 		
<ul style="list-style-type: none"> 文字の入った計算ができないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字式の意味が分かり、計算ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 式が表している問題場面を図式化したり、簡単な数値で考えさせたりする。
 <ul style="list-style-type: none"> 文字式のきまりの一覧などを見て確かめられるようにしておく。 		
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> 図式化したものをもとに、正しく計算できているかを確認する。 文字式のきまりが守れているかを確認する。 		

<困難さ>

生徒が日頃使用することが少なく、抽象度の高い言葉の理解が難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・言葉の意味と実際の学習活動との結びつきが十分でないため。	・体験的な活動を通して視覚的・具体的なイメージをもてるようとする。	・生徒の興味・関心や生活経験に関連の深い教材を取り上げて、既習の言葉や分かりやすい言葉に置き換える。

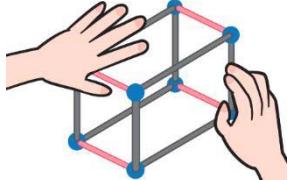
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・言葉の意味を理解し、学習ができているかを確認する。

<困難さ>

空間図形のもつ性質を理解することが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・視力の低さや視野の狭さなどから、空間的なイメージができないため。	・直線や平面の位置関係をイメージできるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・立体模型で特徴のある部分に触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明する。 ・見取り図や展開図と見比べて位置関係を把握する。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・直線や平面の位置関係のイメージができているかを確認する。

・空間的な把握が難しく、向きや方向、大きさ等が異なるとイメージができないため。	・向きや方向、大きさの違いをイメージすることができるようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物やタブレット端末等を用いて、見たり、触ったり、回転させたりして確認する。 ・基点となる点や辺などに印をつける。 
-----------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・言葉で説明させ、向きや方向、大きさの違いを正しくイメージできているかを確認する。

<困難さ>

データを目的に応じてグラフに表すことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・視力の低さや視野の狭さなどから、自分の作図の過程や結果を視覚的に確認しにくいため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見えにくい状態を軽減させ、大枠のイメージをつかめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフを大きくしたり、作図しようとしているグラフ全体の形を言葉で説明したりして、グラフのイメージをもたせる。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・作図しようとしているグラフを言葉で説明させ、実際に作図したグラフが意図したものになっているかを確認する。

<ul style="list-style-type: none"> ・必要なデータや複数のグラフの構造を捉えにくく、目的に応じたグラフに表すことができないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフの種類や目的に応じたグラフの表し方があることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じデータを棒グラフや折れ線グラフ、帯グラフなど違うグラフに表し、見比べることを通して、よりよい表し方に気付くことができるようとする。 ・縦軸・横軸の意味理解と座標の感覚を将棋などのゲームを通して理解できるようとする。
--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・作図しようとしているグラフを言葉で説明させ、実際に作図したグラフが意図したものになっているかを確認する。

<困難さ>

面積や体積について、既習をもとに立式することが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none">・三角錐や球など、図形と言葉を結び付けにくく、公式の意味が理解できないため。	<ul style="list-style-type: none">・公式を使い、面積や体積を求めることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・式と図形を対応させた色をつけるなど注目してほしいところを強調して、公式と図形の関係を結びつける。・具体物を用いて、見たり、触ったり、回転させたりしながら違いを確認する。



- ・パソコンやタブレット端末を活用する。(アプリの活用など)

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ・公式が表しているものを言葉で説明させ、正しく図と結びついているかを確認する。

中学校・高等学校〔理科〕

<困難さ>

実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが難しかったり、見通しがもたもてなかつたりして、学習活動に参加することが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・手順や器具が多いため、必要な情報をとらえることが難しいため。	・学習の見通しがもてるようにする。	・実験・観察の目的を明示したり、操作手順を具体的に示したり、扱いやすい実験道具を用いる。
・難聴のため、口頭だけのだけの指示では分かりにくいため。	・指示が伝わりやすくする。	・方法を視覚的に表したプリントを掲示したり、配付したりする。
・視力の低さのために操作方法を把握できないため。	・見えにくさを解消する。	・実験・実験の手順や方法が見やすいプリントを手元に置く。
・病気による学習空白のため、経験や体験等が不足し、使い方や方法について理解していないため。	・経験不足を補う。	・経験していない内容を事前に伝える。

子供と共に手立ての効果の確認（例）

- ・実験を手順通りに、最後まで行えたか確認する。

<困難さ>

燃焼実験のように危険を伴う学習活動において、危険に気付きにくいため、安全に実施することが難しい

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 手順が多いため、気が散ってしまい、考えたことをすぐに行動してしまうため。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童を危険な状態にしないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が確実に様子を把握できる場所で活動できるように配慮する。 危険なポイントを示し、なぜ危険なのかを伝える。 整理された学習環境で取り組めるように工夫する。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 実験・観察中に危険なく行えているか確認する。

<ul style="list-style-type: none"> 車椅子移動や手指の動きの制限があったり、不器用であったりするため、危険への対応が遅れてしまうため。 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子や補助具の操作、手指の動き等が上達するようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に応じた動きができるように、操作方法や動きを練習する。  <p>※理科室で車いすの練習をしている様子</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

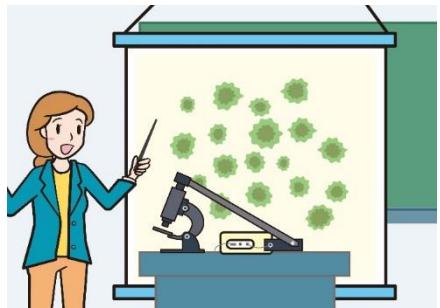
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 車椅子、補助具の使いやすさや手指の動きを確認する。

<困難さ>

自然の事物・現象を観察する活動において、時間をかけて実験や観察をすることが難しい

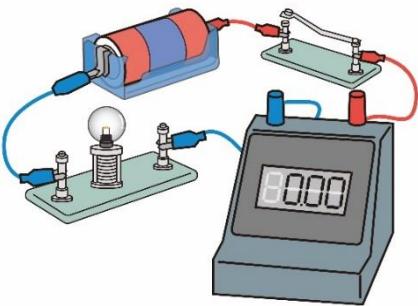
(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・学習の見通しがもてず、気が散ってしまうため。	・学習の見通しをもち、実験・観察の内容に着目しやすくする。	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察の手順や方法を視覚的に表したもの等を掲示したり、ICT教材を活用したりして、注目するポイントを示す。  <p>※顕微鏡で観察するものを投影している様子</p>
・視力が低いため、遠いものや動くものを見て観察することが難しいため。	・視力を補って、観察できるようにする。	・観察できるものを手元に置き、触って確認できるようにする。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・観察・実験に集中して行えているか確認するため。		
・病気により体力が少ないため。	・休みながら行えるようにする。	・休憩できるスペースを設ける。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		

- | |
|----------------------|
| ・体調不良になっていないか確認するため。 |
|----------------------|

<困難さ>

実験・観察から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが難しい
(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・手順や器具が多いため、必要な情報をとらえることが難しいため。	・情報を精選し、視点を明確にするなどの配慮をする。	・読みとったり、把握しやすくするために、必要な部分を拡大したり、限定したりする。 ※表示が大きく、見やすいデジタルの電流計を使用している様子
・視力の低さのために実験の変化を把握したり、器具の目盛りを読み取ったりすることが難しいため。	・見えにくさを解消する。	

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ワークシートなどに記入させることから、読み取れているか確認する。

<困難さ>

実験・観察について予想を立てることや考える際の視点を定めることが難しい
(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意団	個に応じた手立て
・これまでに学習した内容を組み合わせたり、順序立てたりして考えることが苦手なため。	・学習した内容を順序立てて考えられるようにする。	・見通しがもてるよう、これまでに学習した内容についてヒントになる事項を図やカード等に整理して示す。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- ワークシートなどに記入させることから、予想できているか確認する。

中学校・高等学校〔外国語〕

<困難さ>

英語の語には、発音と綴りの関係に必ずしも規則性があるとは限らないものが多く、明確な規則にこだわって強い不安や抵抗感を抱いてしまう

(学習指導要領解説の記載あり)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 特定のものにこだわったり、規則性にこだわったりする特性があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則性があるとは限らない英語の発音と綴りに関する学習に、安心して取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を書いたり、発音したりする活動では、その場で書いたり、発音することを求めず、他のクラスメートの解答を見たり聞いたりしてから取り組んでも良いこととする。 似た規則の英語を選んで扱い参考にさせる。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 授業中すぐにできなくても、他のクラスメートの解答や似た規則の発音等を参考にし、正しい綴りで書けたり、正しい発音で言えていたりするかを確認する。
- 安心して学習に臨めているか、生徒の表情を確認する。

<困難さ>

音声を聞き取ることが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 外国語と日本語の音声やリズムの違いを認識することに課題があるため。 音声を聞き取ることが難しく、活動の流れを理解できないため。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声を聞き取れるようにする。 リズムやイントネーションを理解できるようにする。 本時の活動の流れが分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるよう、リズムやイントネーションを、教員が手拍子を打つ、音の強弱については手を上下に動かして表すなどの配慮をする。 発音の音量を大きくする。 口形をはっきり示す。 本時の流れが分かるように、本時の活動の流れを文字で黒板に記載する。

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるようにになったかを確認する。
- 本時の流れが分かり、活動に参加できているかを確認する。

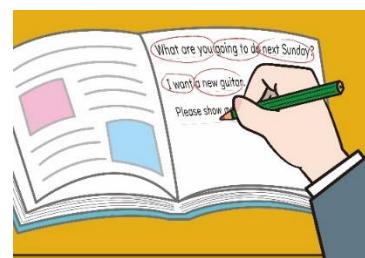
<困難さ>

1 単語当たりの文字数が多い単語や、文などの文字情報になると、読む手掛かりをつかんだり、細部に注意を向けたりするのが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりを認識することに課題があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を読む手がかりをつかめるようにする。 板書に貼られたカードから語彙や表現を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや文の構成を見てそろえやすくするよう、外国語の文字を提示する際に字体をそろえたり、線上に文字を書いたりする。  <ul style="list-style-type: none"> 語彙・表現などを記したカードなどを黒板に貼る際には、貼る際には、貼る位置や順番などに配慮する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none"> 文字や単語を読む手がかりをつかめたかを確認する。 		

<p><困難さ></p> <p>日常的な話題や社会的な話題を聞いて、話の概要をとらえることが難しい (学習指導要領解説の記載なし)</p>		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題を聞くことに課題があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 話題で話されていること全体の大まかな内容を捉えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を把握できるよう、話題の重要な部分に関しては、ゆっくり、口形をはっきり示し、強調して大きな声で話すようにする。 興味・関心を示すような身の回りの物を題材として扱うようする。
<p>子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題を聞き取ることができるようになったかを確認する。 		

<p><困難さ></p> <p>簡単な語句や文で書かれた文章を見て、文章の概要や要点をとらえることが難しい (学習指導要領解説の記載なし)</p>		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 語句や文章のまとまりを認識することが難しく、語句や文章のまとまりを識別することに課題があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 語句や文章のまとまりを識別し、読めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 語句や文章のまとまりを○で囲む等して、語句や文章を意識できるようにする。 
<p>子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句や文章のまとまりを識別できるようになったかを確認する。 		

<困難さ>

語や文章を話すことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・話すときに、単語や文章が頭に思い浮かばないため。	・単語や文章を話すことができるようになる。	・話す内容を頭の中で整理できるように、紙に書く等の工夫をする。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・話す内容を話すことができるようになったかを確認する。		

<困難さ>

日常的、社会的な話題等について、自分の気持ちや考えたことを伝えることが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・自分の気持ちや考えたことを伝えることに課題があるため。	・自分の気持ちや考えたことを伝えることができるようになる。	・予め、自分の気持ちや考えたことをメモ等に整理して準備し、相手に伝えることができるようになる。
		
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・自分の気持ちや考えを伝えることができたかを確認する。		

<困難さ>

日常的、社会的な話題等について、自分の気持ちや考えたことを整理し、話すことが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちや考えたことを話す、発表することに課題があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちや考えたことを話す、発表することができるようになる。 人前で話すことへの不安を解消する。 	<ul style="list-style-type: none"> 予め、自分の気持ちや考えたことをメモ等に整理して準備し、話す、発表ができるようになる。 自信をもって発表できるように肯定的に生徒の発表を支援する。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 自分の気持ちや考えを話す、発表することができたかを確認する。
- 人前で話すことへの不安・緊張が解消されたかどうかを確認する。

<困難さ>

文構造や文法事項を正しく用いて、正しい語順で文を構成することが難しい

(学習指導要領解説の記載なし)

困難さの背景	指導の工夫の意団	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> 書くにあたり、文構造や文法事項を正しく用いて、正しい語順で文を構成することに困難があるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 文構造や文法事項を正しく用いて、正しい語順で文を構成することができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文の構造や文法に着目し、構文等を強調して示すようになる。 

子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）

- 文構造や文法事項を正しく用いて、正しい語順で文を構成することができるようになったかを確認する。

(3) 学校での実践例

「教科指導上の個に応じた配慮」を考える流れ（図5－3）を参考にした学校の実践を紹介する。今回は、複数の教科に共通する配慮の例を紹介する。

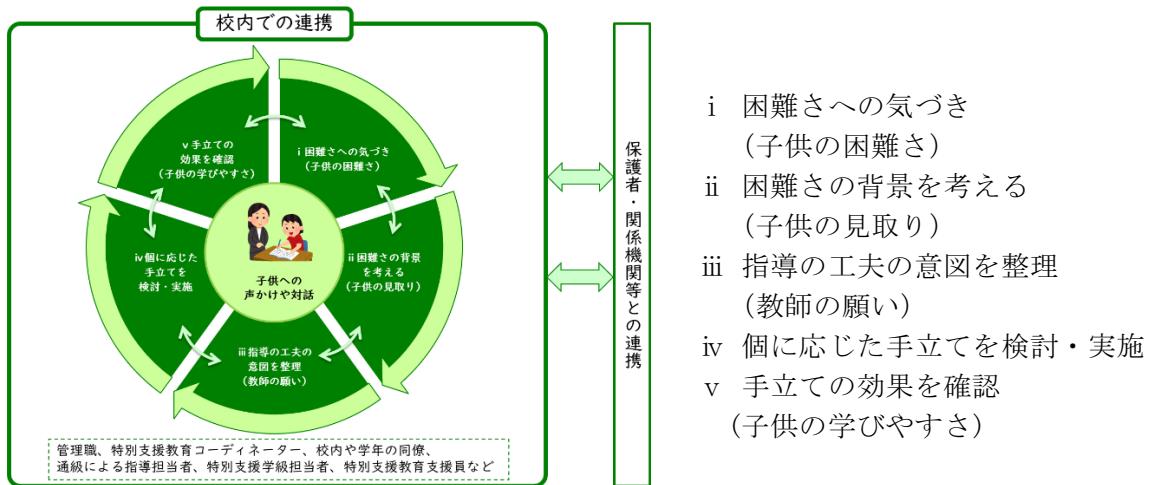


図5－3 「教科指導上の個に応じた配慮」を考える流れ（図4－2再掲）

【実践①】学級の気になる子供の「困難さ」から考えた学校

通常の学級担任のJ先生は、文章を音読する際に文章の行を読み飛ばすKさんがいることに気付いた（困難さへの気付き）。

J先生は、特別支援教育コーディネーターの先生に相談して、授業参観や、Kさん・保護者と面談、検査を実施するなど、Kさんの実態を把握した。その結果、Kさんには、眼球運動の制御に困難さの背景があることがわかった（困難さの背景を考える）。そこで、Kさんがどこを読んでいるのかが分かるように（指導の工夫の意図）、教科書の文字を指等で押さえながら読むように促した（個に応じた手立て）。また、授業中に、机間指導しながらKさんに個別に音読するよう促したり（手立ての効果の確認）、周囲の目が気にならないかなどの確認をしたりした。

<困難さ>		
文章を目で追いながら音読することが困難		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・眼球運動に困難さがあるため。	・自分がどこを読むのかが分かるようにする。	・教科書の文字を指等で押さえながら読むように促す。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
・机間指導の際に、音読できているかを確認する。		

【実践②】教師が日頃から提供している「手立て」から考えた学校

通常の学級のL先生が所属する学校では、わかりやすい授業として、授業中に音読する際、教室にある大型モニターに教科書を投影して、読んでいる場所を視覚的に指示する配慮を行っている（わかりやすい授業）。ある時、このような配慮をしているものの、音読ができていないMさんがいることに気付いた（困難さへの気付き）。

L先生は、通級指導教室のN先生に相談して、授業参観や、Mさん・保護者と面談、検査を実施するなど、Mさんの実態を把握した。その結果、Mさんには、語のまとまりをとらえるなど、文章を読むことに困難があることがわかった（困難さの背景を考える）。C先生は、Mさんが語のまとまりや区切りが分かるように（指導の工夫の意図）、分かち書きされたプリントを用意した（個に応じた手立て）。また、単元の終わりにMさんへ個別的に音読するよう促したり、周囲の目が気にならないかなどの確認をしたりした（手立ての効果の確認）。

後日、Mさんは、通級指導教室に通うこととなり、分かち書きした教科書を音読する指導を受けるなど、通常の学級での学びに生かすこととなった。

<困難さ>		
文章を目で追いながら音読することが困難		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
・語のまとまりをとらえることが難しくいため。	・語のまとまりや区切りが分かるようにする。	・分かち書きされたものを用意する。
子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）		
<ul style="list-style-type: none">・毎月1回程度、実際に音読できているかを確認する。・分かち書き（手立て）が、読みやすさにつながっているか確認する。		

【実践③】発達障害や視覚障害等の「困難さ」「困難さの背景」から考えた学校

通常の学級のO先生の学級には、弱視の通級指導教室に通うPさんが在籍している。Pさんが入学する際、Pさんの視力や見え方に関する引き継ぎが行われた（困難さへの気付き、困難さの背景）。

学級全体で文章を音読する場合、O先生は、Pさんが文章を音読することができるよう（指導の工夫の意図）、書見台を使用しながら授業に参加できるよう、教材等の準備をしている（個に応じた手立て）。O先生は、授業中、Pさんに個別的に音読するよう促したり（手立ての効果の確認）、周囲の目が気にならないかなどの確認をしたりした。また、学期ごとに、書見台の高さや角度の調整の必要性を確認するようにしている。

<p><困難さ></p> <p>文章を目で追いながら音読することが困難</p>		
困難さの背景	指導の工夫の意図	個に応じた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・弱視により小さな文字が見えにくいため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどこを読むのかが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書見台を用いて音読するよう促す。
<p>子供と共にを行う手立ての効果の確認（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に音読できているかを確認する。 		